

国際文化交流学科 「サラダボウル喫茶」が 開催されました

神奈川県文学会・外国語学部国際文化交流学科共催の「サラダボウル喫茶」が開催されました（11月12日）。



「サラダボウル」とは、さまざまなルーツを持つ人々が違いを尊重し合いながら共に生きていく社会を言い表した言葉です。これを合い言葉にして、外国文化と日本文化を相互に紹介するカフェが設けられ、世界中のお茶とともに各テーブルで国際交流の花が咲きました。

オープニングでは、著名なイラストレーターで本学科の特任教授であるわたせせいぞう先生が、自分の作品の中に含まれる様々な文化（ポップアートからヨーロッパの漫画、浮世絵まで）について語ってくれました。

また、留学生たちと日本人学生とのトークセッションでは、日本でのカルチャー・ショックや慣習の違いについて、熱い議論が交わされました。双方とも、交流する機会が少ないのを残念に思っていたようなので、これを機会にコミュニケーション



外国語学部
国際文化交流学科 助教

熊谷 謙介

「サラダボウル喫茶」が開催されました

ンを進めてほしいと感じました。留学生のみならず、ご協力ありがとうございました。

最後はベルーの音楽集団イジャイによるライブが繰り広げられ、観客も一緒に踊り出す盛り上がりを見せました。

他にも民族衣装の試着や撮影会などの企画があり、たくさんの方々に参加してくれました。

観客は学生や教員のほかにも、高校生や近隣の地域の方々も多く、親子連れもたくさん見られました。来年度以降も、さまざまな人たちに開かれた学科祭をモットーにして、企画・運営ができればと考えています。



この写真は、大学OBで「神大観察 second」というサイトを運営している方に提供していただきました。